

令和6年度 第3回江南市上下水道事業経営審議会 議事要旨

会議名	令和6年度 第3回江南市上下水道事業経営審議会
開催日時	令和6年9月24日（火） 午後2時から午後4時まで
場所	消防署 3階 大会議室
委員	出席委員9名 横山 幸司（学識経験者） 奥村 真也（学識経験者） 大曾根 数馬（団体代表） 沢田 光功（団体代表） 古田 みちよ（団体代表） 尾関 昭（市議会議員） 須賀 博昭（市議会議員） 安藤 晴通（公募市民） 大池 夏子（公募市民）
事務局	8名
（水道部）	古田（水道部 部長）
（水道課）	尾関（水道課 課長） 三輪（水道課 経営・業務グループリーダー） 岸（水道課 経営・業務グループ）
（下水道課）	酒匂（下水道課 課長） 今枝（下水道課 主幹） 間宮（下水道課 経営・業務グループリーダー） 平山（下水道課 経営・業務グループ）
傍聴者数	0名
配付資料	・次第 ・江南市上下水道事業経営審議会 委員名簿（資料1） ・江南市上下水道事業経営審議会条例（資料2） ・令和5年度 愛知県江南市水道事業会計 下水道事業会計 決算書及び事業報告書（資料3） ・江南市下水道事業経営戦略改定の概要・江南市下水道事業経営戦略【改定(案)】（資料4） ・水道料金の改定について（資料5） ・防火水槽・消火栓設置及び簡易消火栓移設等負担金に関する事務取扱要綱（資料6） ・江南の水道 No.26

1. 開会

水道部長挨拶

2. 委員等自己紹介

3. 会長及び副会長の選出

委員の互選により、会長に横山幸司氏、副会長に尾関昭氏を選出。

4. 議題

(1) 令和5年度水道事業会計決算について

事務局 資料3について説明した。

委員 決算書22ページ概況の中で、「今後も滞納者に対して給水停止等徴収強化を行い」とあるが、給水停止に至る過程と、給水停止される家庭へはどのような配慮をしているのか。

事務局 二期(四か月分)未納があれば給水停止の対象となり、給水停止判定会議にはかり、事前通知を経て給水停止に至る。給水停止の際には市の福祉担当部局や子育て担当部局、高齢者担当部局に情報提供することで連携している。

委員 県からはいくらで水を買っているのか。

事務局 県水依存率は38.4%で、県から3億2,805万9,134円(税抜)水を買っている。

委員 取水停止している井戸が二か所あるがその原因は何か。

事務局 後飛保第5、6号井についてはテトラクロロエチレンが基準値を超えて検出されたため、取水停止している。現在、平日約8時間揚水し、放流しているが、なかなか水質改善されない。また、処理施設等の導入にも莫大な費用がかかるため、令和8年度を目途に廃止予定である。

委員 決算書58ページ建設改良費等の財源に充てるための企業債について、平成20年から平成30年まで10年間、企業債を借りていないが、この間は建設改良工事を行わなかったのか、内部留保で実施したのか。

事務局 10年間は水道事業の料金収入で建設改良工事を行っていた。平成30年から起債を借りた理由は、平成29年度から毎年度約3億円かけた基幹管路更新工事に着手したため、経営戦略の方針に従って、その約半分の1億5,000万円を企業債の借り入れで賄っている。

(2) 令和5年度下水道事業決算について

事務局 資料3について説明した。

委員 決算書74ページ概況の中で、下水道普及率42.9%とあるが、これは高いのか低いのか。低いならば今後どのような対策をされるのか。

事務局 普及率は江南市の人口全体の中で下水道が供用開始されているエリアに

住んでいる方の割合である。下水道普及率は全国及び愛知県平均では約80%であり、それと比較すると江南市は低い。その理由は、江南市では当初市内全域を下水道供用開始エリアとしていたが、採算性等を考慮して、供用開始エリアを市街化区域のみに縮小したためである。
今後、普及率は多少伸びる予定であるが、45%前後に留まる見込みである。

(3) 下水道事業経営戦略の改定について

- 事務局 資料4について説明した。
- 委員 決算書66ページ、下水道事業損益計算書を見ると、使用料収入が約4億円で、営業損失が約5億4,000万円である。過去の設備投資に対する補助金の減価償却相当額である長期前受金戻入約2億円をそこから引くと、約3億円の赤字である。かなり値上げをしないと採算が合わないのではないか。
- 事務局 決算書66ページ、損益計算書の営業外収益の中の他会計負担金は一般会計が負担すべき経費であり、他会計補助金は赤字補填のための一般会計からの繰入金である。これは減らしていく必要があるが、これを含めた経常損失は約5,000万円である。
- 委員 また、使用料収入が約4億円に対して支払利息が1億3,000万円あるのは非常に危機的な数字だと思うが、どのあたりを着地点として経営戦略を立てていくのか。
- 事務局 経営戦略については計画期間内で黒字化を目標とする通知が国から出ている。令和9年度の使用料の値上げについてはすでに議決し、決定済みであるが、その後の使用料改定については、経営戦略に反映していく必要がある。経営戦略の着地点については、黒字化が目標であるが、他自治体でも一般会計から他会計補助金を繰入れた上で黒字の団体も多くあるので、必ずしも一般会計からの繰入金をゼロにするわけではない。
- 委員 下水道事業経営戦略10ページより、普及率も全国平均に比較してかなり低い。また12ページ水洗化率についても低い。これは江南市が非常に厳しい状況であるという認識で良いのか。何かモデルケースとなる自治体はあるのか。
- 事務局 モデルケースについては、経営戦略8ページに、処理区域内の人口や人口密度によって、江南市と同じ類型区分Bc2に分類される自治体が類似団体として示してある。これらの自治体との比較が有効である。
- 委員 経営戦略の最終的な着地点は、独立採算で黒字を目指すのか、一般会計繰入金ありきの料金体系でやっていくのか。
令和9年度に150円に値上げしたところで、汚水処理原価が200円以上なので間違いなく赤字である。例えば、現在、約75%である水洗化率を今後85%まで上げる、といった具体的な数字を経営戦略に載せていかないといけない。値上げについても江南市は春日井市に比較すると随分緩やかである。

独立採算で黒字化している団体もある中でどこを目指していくのか考えを述べてほしい。

会 長 ご指摘のとおりであるが、それをこれから話し合っていくので、次回以降、事務局案をお示しいただいて、委員の皆さまの意見を伺いたい。

5. 報告

(1) 水道料金の改定について

事務局 資料5について説明した。

質疑なし

6. その他

(1) 水道事業経営戦略の中間見直しについて

事務局 令和5年度から4回にわたって審議いただいた水道料金のあり方を基に、現在作成中であり、年明けの審議会で議題とすると説明した。

質疑なし

(2) 防火水槽・消火栓設置及び簡易消火栓移設等負担金に関する事務取扱要綱について

事務局 資料6について説明した。

質疑なし

(3) 今後の予定について

事務局 次回は下水道事業経営戦略の改定についてを議題として、11月7日(木)に開催予定と説明した。

7. 閉会